



関屋小だより

校長 佐藤 幸代

健康で明るい子

進んで行動できる子

よく考える子

班長さんががんばっています



新しい登下校班になってもうすぐ一か月になります。先日、毎日登下校の見守りをしてくださっている地域のボランティアの方から、「新しい班長さんがとってもがんばっていますよ。一年生の手をつないでゆっくり歩いてくれたり、横断歩道でしっかり旗を出して手をあげるように声掛けをしてくれたりしています。」とほめていただきました。

私も毎日みなさんの登校の様子をみていて感心したことがあります。ある部団で、低学年の子たちが、毎日のようにケンカをしていたようです。そのケンカの原因を班長さんがしっかりと聞いて、低学年の子たちに、ケンカをしないためにどうしたらいいかを教えてあげて、仲直りをさせてくれていたのです。

「いつも先生に頼るばかりでなく、自分たちで解決できるようにしなくては。」と6年生の班長さんが言うのを聞いて、なんとすばらしいリーダーだろうと感動しました。翌日は、「今日はケンカせず仲良く登校できました。」と班長さんといっしょにがんばってくれていた5年生が報告してくれました。とてもうれしかったです。

関屋小では、登下校班やそうじ、たてわり遊びなど、いろいろな学年でいっしょに活動することが多いです。そんな中で思いやりの心や、リーダーシップの心、助け合いの心が育ってくれることを願っています。

手洗いをしっかりしよう

胃腸炎（いちようえん）がはやっています。トイレのあと、給食の前にはしっかり手を洗って、かんせんよぼうをしましょう。睡眠もしっかりとってくださいね。

保護者のみなさまへ

感染性胃腸炎と思われる症状が広がっています。発熱、嘔吐、下痢などの症状があるときは登校をお控えいただき、医療機関の受診をお願いします。学校では、手洗いの徹底、教室、トイレ等の消毒を行っております。先日ミマモルメで配信いたしました感染防止対策もご覧いただけますようお願いいたします。

注意できるってすばらしい

「ろうか右側を歩こう」が先週の目標でした。残念なことに、目標を忘れて、走っているおともだちがいたようなのですが、校長室にいた私の耳に「ろうかを走ったらだめだよー」と注意してくれている声が聞こえてきました。先生の声ではありません。何人かの児童が、走っている子を注意してくれていたのです。目標をしっかりと意識して、注意できる人がいたことがとてもうれしかったです。ろうかを走ると、体の小さい低学年の子が教室から出てきたときに、体の大きい子が走っていてぶつかったら大けがをすることがあります。走っている子が転んでけがをすることも多いです。ろうかだけでなく、登下校のときに走って転んでのケガが、先週はたくさんありました。いそぐときも走らず、落ち着いて歩きましょう！そして安心安全な関屋小学校をみんなで作っていきましょう。

できる!できる!は魔法の言葉



先日の全校朝会で、まほう言葉のお話をしました。何かに挑戦するときや、不安なことにチャレンジする前に「できる!できる!」を8回唱えてごらん、8回は無限大∞の数字だよ!というお話です。「まほうが効いたら教えてね。」と言ったところ、たくさんの方が、「先生、できるできると言ったら、漢字テストが書けました。」とか、「給食のじゃんけんの前に行ったらじゃんけんに勝ったよ。」とか、うれしい報告をたくさんしてくれました。私が中学校の担任をしていたときにもこのお話をしたのですが、受験前にもこの言葉を唱えて力を発揮できた、という生徒がたくさんいたのです。みんなの脳みそは自分の言葉をよく聞いています。「無理だ」「だめだ」というと、脳みそも「無理だ」「だめだ」と思ってしまい力を発揮できないのだそうです。これは脳科学のお話なのですが、私は脳科学の本を読むのが好きなのでそんなお話もまたしていきたいと思います。